

令和2年度 学校評価 自己評価書 (3学期)

1 学校の教育課題 ○確かな学力の向上 ○豊かな心の育成 ○体力向上と保健・安全意識の向上

2 課題と改善策 (4:よく実践され効果も出ている 3:実践されている 2:実践されているが効果が出ていない 1:実践が十分でない)

重点目標	評価項目	評価 3学期	成果や課題
確かな学力の向上	1 複式学習過程の定着のために、花尾小ガイド学習の定着に取り組む。	3.0	1-○ ガイド学習が定着しつつある。今後も定着するようにもっとがんばっていききたい。 2-○ 研究授業を通して、板書を見直し、めあてとまとめの整合をより意識するようになった。 3-○ わからないことがあるとすぐに友だちや教師に聞く児童に、自分で考えるよう指導した。 5-○ 授業を早めに終わらせ、3月中旬からは習熟の時間を取り、基礎基本の定着に努めることができた。 6-○ ICT機器を活用して授業を進められた。 7-○ 家庭学習強調週間とノーメディアは各家庭に意識づけを図ることができた。 8-● しっかりできるように指導を続けていきたい。 10-○ 毎日の活動を通じて、委員会の仕事を責任を持ってできるようになり、環境タイムでは、日頃の学習で学んだことを生かしつつ、自分たちで準備を進め、分かりやすい発表をさせることができた。 10-○ 形の違うボランティア活動で今までできなかったことをすることができた。今後も状況にあったボランティアの実践をしていけたらいいと思う。 10-○ ボランティア活動を、冬場は草も少ないので、校内の清掃に変えられたのはよかった。 11-○ 子供たちも多様な本を読むようになったと感じる。 12-○ 体育や昼休みの時間で、一輪車の練習を続け、乗れる子が増えてきた。全員乗れるように、残りの期間も練習させていきたい。 13-○ 持久走大会に向けて目標を持って活動することができた。 14-○ 感染症対策のために、学校の環境がとても整ったと思う。今後も、気を緩めることなく、換気・手洗い・うがい・マスクなどを徹底させていきたい。 18-○ 大平獅子舞では地域人材活用ができ、ありがたかった。 18-○ 地域のことを教えていただきありがたかった。 18-● 新型コロナウイルス感染症対策のため、地域の方を招いた生活科の活動を断念するなど、地域連携の難しさを感じる1年となった。 20-● テーマ研修については、各先生方の授業を参観出来てとても勉強になった。一方で、計画的に研修を進められず反省点多かったので来年度に生かしていきたい。 21-○ 業務改善や仕事の優先順位についてなど、意識して取り組むことができた。
	2 思考過程が分かる構造的な板書(整合するめあてとまとめの提示)	3.3	
	3 児童の思考・判断を促す発問に取り組む。	3.0	
	4 児童が自分の考えを相互に説明する活動を位置付ける。	3.0	
	5 ドリルタイムや学習チャレンジタイムで習熟と活用を図る。(鹿兒島チャレンジアシストシート、名作名文の暗唱、意見文等を書く活動)	3.3	
	6 授業で児童のICT活用に取り組み、学年に応じた活用をさせる。	3.3	
	7 家庭学習の点検を工夫し、調べたり文章を書いたりする宿題を出す。	3.3	
豊かな心の育成	8 黙々作業100%をめざす。	2.8	
	9 人権同和教育の視点に立って、1週間に1つ以上は児童全員のよさを見つけ、職員室や朝・帰りの会等で共有する。(うれしいポストの活用)	3.0	
	10 環境ISO活動やボランティア活動、青少年赤十字活動を通して、気付いて行動した児童を広める。(うれしいポストの活用)	2.8	
	11 毎月23日のうちどく(花尾読書の日)に取り組む。	3.3	
・体力 安全と保健 意識の 向上	12 「一輪車名人になろう」に取り組む。(チャレンジかごしまの活用)	3.3	
	13 仲よし体育や授業で持久力や敏捷性の向上に取り組む。	3.0	
	14 健康タイムや各種健康教室を工夫し、疾病予防や早期治療に取り組む。	3.3	
	15 早寝・早起き・朝ご飯・歯磨きの習慣化に取り組む。	3.2	
	16 月1回の安全点検と連動した補修状況を共有し、安全指導を徹底する。	3.3	
学校 づくり 開かれ た	17 地域合同行事や文化財少年団活動、あいご会活動を通して、保護者や地域住民と絆を強める。	3.0	
	18 地域人材を活用して、郷土を学ぶ探究学習(総合学習・創意)に取り組む。	3.3	
	19 教員同行で清掃活動や花作りを行い、美しい学校づくりを行う。	3.0	
教職員 上 の資 質 向	20 研究テーマに基づく研究授業を行い、参加型の授業研究に取り組む。	3.0	
	21 業務改善に取り組み、良い事例を共有する。	2.7	

考察及び改善方針

- (1) 全学級で、ガイド役の児童が学習を進めていけるようになってきている。複式の授業の基盤ができてきている。次年度は意見交流の場を増やしながらい子供たちが主体的に問題解決を図るための学習指導の研究を進めていきたい。合わせて、複式指導も学校全体で取り組んでいきたい。
- (2) 確かな学力の向上のために、継続して「めあて」と「まとめ」の整合性や、思考過程の分かる「板書の工夫」。また、合わせて「ノート指導」の徹底を行っていききたい。
- (3) ドリルタイムや学習チャレンジタイムでは、個に応じて、習熟と活用を図るように努めている。また、プリントや課題等をただ与えるなく、児童の解答を分析し、計画的に課題等を与えるようにしていく。学力向上へつなげていきたい。
- (4) 職員の指示を子どもたちが聞き、自分たちの仕事を忘れることなく行動に移すことができたようである。今後も児童の様子を見ながら、適切な声かけを行っていききたい。